

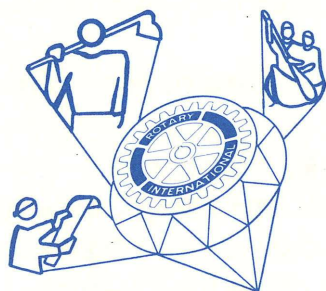


THE ROTARY CLUB OF TOKYO NEW-SOUTH



Weekly Report 東京新南ロータリークラブ週報

No. 138 1989年7月28日



国際ロータリー会長 ヒュー・M・アーチャー

1989-90年度国際ロータリーのテーマ

ENJOY ROTARY!

**ロータリーを
楽しもう!**

本日の予定 1989年7月28日(第140回)

『演奏会』

ピアニスト 芦川 真理子 氏

ピアニスト 芦川真理子氏プロフィール

5才半より岡本滋子氏のもとでピアノを習い始める

59年4月 東京芸術大学音楽学部器楽科ピアノ専攻入学

その間、安川加寿子氏、梅谷進氏に師事

63年3月 同大学卒業

現在フルーティストの山形由美氏と演奏活動を中心に活躍中

先週報告

1989年7月21日 第139回

『就任のご挨拶』

職業奉仕委員長 山本 博一 君

社会奉仕委員長 丸山 忠典 君

国際奉仕委員長 田中 武 君

司 会：村 川 優 前会長

♪ロータリーソング：「日も風も星も」

ソングリーダー：E.A. ZALOOM 君

ニコニコボックス紹介：芦谷 庸二郎 君

来客紹介：宮澤 博 君

出席状況：会員51名中／出席30名／欠席21名

来客7名(地方2名・都内5名)

◎会長報告

(1)佐藤定宏会長が手術のため入院されました。術後の経過は順調です。ご安心下さい。

(2)毎回例会ですばらしいピアノ演奏をして下さっている芦川真理子さんが、今月いっぱい、例会から離れることになりました。8月6日から2年間、ドイツのケルンに留学します。

◎幹事報告

7/23(日) 地区ローターアクト委員長会議

8/3(木)、4(金) 地区インターアクト年次大会

8/21(月) 地区米山奨学委員長会議

が開催されます。

◎SAA委員会報告

(1)腕章を作りました。毎回SAA委員長がつけます。

(2)例会場に、報告する人の指定席を設けました。

(3)例会を円滑に行えるように、会員の皆さんご協力をお願いします。

◎慶事披露

お誕生日 7月24日 永井 克彦 君

100%出席 2年 宮本 正祥 君

ニコニコボックス

(順不同・敬称略)

植村 為久(東京南RC) お世話になります。

永井 克彦 48才になりました。何となく意味深い年令の様な気がします。皆さんの友情に感謝して。

山本 博一 大スピーチをします。御勸弁下さい。

馬場 一廣 佐藤会長の一日も早い御快復を祈って。

平井 逸夫 佐藤会長さん写真を有難うございました。早く退院されるようお祈りしています。

保森 登 佐藤定宏様、写真を有りがとう御座居ました。

吉田 用親 佐藤会長、楽しい写真ありがとうございました。

岩瀬 秀郎 ○芦部さんテレホンカード有難うございました。○7/14例会を休みました。すみません。

山川 政樹 出張のため2回も休んでしまいました。

7月21日 9件 ¥28,000

それぞれ、多額のご寄附を頂きました。有難うございます。

◎ビジター(敬称略)

能村光太郎／大阪RC、浅田豊久／金沢北RC、治田秀夫／東京北RC、田崎喜朗／東京西北RC、稲川健二／東京世田谷南RC、大畠孝昭／東京みなとRC、植村為久／東京南RC

『クラブ奉仕委員会』

川 鍋 達 朗 君

最近でこそ例えば社会奉仕のあり方など、当クラブで論議が始まりましたが、まだまだ物理的にも経済的にも四大奉仕活動の中で他の三奉仕の本格的活動は無理で、クラブ奉仕が中心にならざるを得ないことは皆さんご承知の通りで、その中でも同様の理由で特に会員増強と、新会員の受け入れ融合を中心とした親睦活動を盛んにしていくことが従来に増して重要であります。

会員増強には質の維持を考えた上で、より画期的努力が求められています。そうでなければ提案として抜本的財政改革案が求められており、そのための論議もこの秋に用意されております。会員全員が自分達の問題としてどうぞ真剣にお考えいただき、建設的コンセンサスを形成していきたいと願うものであります。

親睦には、例会はもちろん他のプログラムに新会員を誘ってあげて下さい。何となくキッカケがないとか、いつどこで（例えば火曜会など）何をやっているか知らないかも知れませんが。新入歓迎会をちょっとさぼっているのも問題です。みんなで声をかけていろいろな活動にひっぱり込みましょう。

『職業奉仕委員会』

山 本 博 一 君

佐藤幸雄委員長の後任として今年度は私が大役をお引受けすることになりました。皆様のご支援ご協力よろしくお願い致します。

当委員会の歴代委員長を振り返って見ますと、初代佐藤現会長、第二代田辺現ガバナー、第三代佐藤幸雄氏と重量感あふれるお歴々であり、それに引きかえ今年度はモスキート級超軽量の感じで、正直言ってやや当惑致しております。

しかし、副委員長及び委員に小西さんや前委員長を擁している心強さが頼りの綱であります。神学論争的職業奉仕のあり方については別として、わかりやすい職業奉仕活動に皆様と取り組めたらと考えておりますのでよろしくお願い致します。

本年度の活動方針

1. ロータリーにおける職業奉仕の考え方の理解普及、特に「四つのテスト」の普及を促進する。
2. 職業奉仕に知識経験豊富なロータリアンに卓話を依頼し徹底をはかる。
3. 会員相互の職業の認識をさらに高める活動をはかる。
4. R.I. 新方針「職業奉仕はクラブと会員両方の責務」等について、その可能性及び実行のあり方をさぐる。

『社会奉仕委員会』

丸 山 忠 典 君

社会奉仕活動の中でも、本年は「環境保全」に絞っていきしたいと思います。

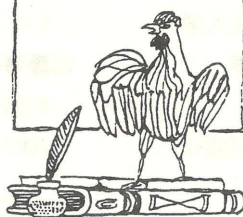
たまたま7月14日から始まったアルシュ・サミットでも環境問題が最大のテーマとなって居ります。

現在使われている化石燃料、即ち石油、石炭、天然ガスを燃やす事によって炭酸ガスその他の汚染物質が空气中に放出され、地球の温暖化が起きて居ります。地球が熱くなると農作物に被害が出たり、海面上昇によって水没する区域が出たりします。

一方都市はモータリゼーションの進展や、地表面の舗装の増大で熱くなっています。

これからは街の質を高める事、それにはコンクリートに対して緑、自然を街に採り入れる事が必要です。皆さんが各自の家や庭、駐車場、ビルの屋上などに緑と花を植え、それを育てれば僅かなりとも、身の周りをクリーンにし、世界の環境問題の解決に参加する事になるのです。ご協力をお願い致します。

新委員長 ご挨拶



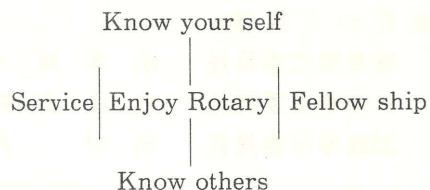
『国際奉仕委員会』

田 中 武 君

Enjoy Rotary は日本人には理解が困難だと言われています。この標語の私自身の解釈を述べ、今年度の国際奉仕委員会の活動への御理解

を賜りたいと思います。

まず下図のような Enjoy Rotary の十字を考えてみました。



この十字の意味は、第一にロータリアンとしての自分自身を良く見つめ対象となる人の立場を良く理解し、奉仕と友情の輪を広げていくべきだということです。そして友情に満ちた奉仕の結果、自分が世の中に貢献できたことに、何事にも変え難い精神的な報酬を得、大きな喜びと満足を感じるこそが Enjoy Rotary ではないでしょうか。

本年度のスローガンに“Think globally act locally”を掲げました。常に大きな視野に立って、着実にやれるところから一步を踏み出していこうというものです。具体的には会員一人、一回は身近にいる留学生と共にひとときを過ごすことによって、相互理解を深めていこうという企画を立てています。どうかご理解とご協力をお願い申し上げます。

『奉仕の理想』

田 島 一 郎 君

雑誌「Voice」の3月号に「経営者よ、哲学を語れ」と題して、城山三郎氏と下村満子氏との対談が掲載されている。この中で下村満子氏が昨年の夏米国のコロラド州のアспенで開かれた「エグゼクティブ・セミナー」に参加したことが報告されている。米国の経営者が二週間ビジネスを忘れ、山にこもって哲学を語るのである。このとき配布された“ETHICS IN AMERICAN BUSINESS”という小冊子に、米国の経営者が企業倫理について書いているが、“Ethics is good business.”とか、“If you do good, you make profit”という言葉が頻繁に出て来るというのである。

これを読んで一瞬はとした。後者の言葉はロータリーの標語である“He profits most who serves best”とはば一致しているからである。この標語は今月一月の国際ロータリーの規定審議会で一步後退したとはいえ、ロータリーの指導理念を簡潔に表わす言葉として永くロータリアンに親しまれて来たものである。この標語がアーサー・P・シェルド氏によって提唱されたのは1911年であるから、78年を経たいま、ほぼ同じ言葉が米国の経営者の間で論議されているということは、いささか驚きである。これをどう理解したらよいであろうか。

ここでロータリーの指導理念である奉仕の理想について考えてみたい。人間は生まれながらの本性として利己的な欲望をもっている。これは生命の根源であり、生物としての本能であるから、これを否定することはできない。一方人間は他人のために役立ちたい、尽くしたいという衝動すなわち利他心ももち合わせている。これら二つの相対立する欲望が人間の心の中で絶えず揺れ動いていると考えられる。さてロータリーにおける奉仕の理想とは、人間が利己心を抑制して利他心に転化することであるといわれている。ポール・ハリスはその著書「ロータリーの理想と友愛」の中で、「奉仕の理想を標榜するものは、受けるべき物質においてではなく、まず与えるべき奉仕に着眼すべきである」と説き、またコロンビア大学総長ニコラス・ムーレー・バトラー博士の次の言葉を引用している。「人間の努力、要求する目的がただ一つ利得にあるとすれば、社会は必ず墮落に瀕し、個人間、集団間および国民間の確執は絶えず増大し、その終局は破壊である。人々が利得感情の支配より解脱して利得を奉仕の後に服従せしめるべきことを自覚するとき、ここに初めて社会上、経済上、政治上の秩序は確固たる基礎と堅実なる持続性を保ち、もって平和と幸福とを大衆の前に保証し得る緒をなすものである」と。

しかし、奉仕の理想はポール・ハリスも指摘しているように、ロータリーによってはじめて生み出されたものではない。これと同じ意味の言葉が、表現こそ異なるが、古今

東西の聖人の教えや多くの民族の格言の中に多数見出されるからである。彼の著書の中からいくつかの事例を紹介すると、ペルシャ人の「汝施こされんと欲する所を施せ」、孔子の「汝の欲せざる所を他人に施こすことなかれ」、イエスの「汝他人より与えられんと欲するすべてを他人に与えよ」などである。このように人間は何千年の間奉仕の理想を繰返し繰返し訴えつづけ、またこれを実現しようと絶えず努力して来たに違いない。それにもかかわらずいまだに満足すべき状態に到達していないのが現実である。したがって奉仕の理想は人間が存在する限り宿命的な永遠の課題であるように思われる。こう考えれば、ロータリーの指導理念を表わす標語とほぼ同じ言葉が4分の3世紀以上経たいま再び繰返されたとしても、別に不思議はないし、少しも驚くには当たらない。今後も繰返されるに違いない。こう独り合点しているが、会員諸兄のご批判をいただければ幸いである。

会員寄稿 (二)

『都会のクラブと地方のクラブ』

柴 本 芳 郎 君

私は業務の関係で大分県別府市に6年半住み、約6年別府RCに所属し、東京に戻って新南RCに7月で1年10ヶ月お世話になっています。こうして地方と東京のクラブに所属してみると色々運営面で違いがあるということがわかります。

限られた経験なのでポイントはずれがあるかもしれませんがその点はご容赦下さい。

(1) 地域密着性—地方のクラブはこの点が強烈です。例えばクラブ年度の最初の卓話はまず市長というのが恒例になっており、又職場例会が度々あり会員の関係している企業を例会場にしてその会員が自分の仕事について卓話をします。県や市の公共施設への訪問も活発で、特に老人ホーム、子供の養護施設等への奉仕活動は恒例になっています。

東京の場合、地域密着は実行面で種々困難さがあり東京式やり方でよいとは思いますが、クラブの所在する港区との関連性が何かあってもよいのではないかと思います。

(2) 出席率—私の所属していた別府RCは九州ではその歴史と出席率を誇るクラブで、クラブ創設以来37年出席率100%の伝統があり、会員としてこの伝統を破ったら、どんなに大失態になるかということで異常なまで出席に気を使いました。大体において地方のクラブ出席率は良好で常に90%以上を維持しているようです。

この点東京はややゆるやかで気持ちが楽になったというのが本音ですが、おかげで新南RCに入会以来ずっと

出席率 100% を維持しています。

- (3) 卓話一別府ではプログラム委員長もやりましたが適当な卓話者を探すのが大変でした。地元新聞にはロータリー欄があり卓話の予告も載る為、興味ある卓話があるとなると他クラブからビジターが多く来られるので福岡とか大阪まで出向いて卓話者をお願いすることもありました。

此の点東京は著名な方が多く有益な卓話が割と頼み易くうらやましいと思います。

その他色々と都会と地方で違いはありますが、その基本的活動には差はなく、特に我が新南 RC は気の張らない ENJOY RC の特性が活かされており、これが何時までも続いてほしいものと念願している次第です。



◎R.I. 情報 (7月号より)

本当に大切なことは

「私たちが丈夫にするのは、食べたものでなく、消化したものです。私たちが豊かにするのは、利益を上げるのではなく、節約することです。私たちの知識を深めるのは、何を讀んだかではなく、何を覚えているかです。私たちがロータリアンとするのは、言葉ではなく実践です」。



◎特別代表 黒川光朝氏 事業所電話番号変更

(新) 408-7556(ダイヤルイン) ((株) 虎屋 取締役社長)

◇他クラブ例会日・例会場・ビジター費変更

東京世田谷南 RC	金曜日→火曜日 (7月より)
"	新ビジター費 3,500 円 (7月より)
東京中央 RC	新ビジター費 4,400 円 (")
東京日本橋西 RC	" 3,800 円 (")
東京築地 RC	" 4,100 円 (")
東京中野 RC	新例会場 東京ヒルトンインターナショナル
"	新ビジター費 4,000 円 (7月より)
東京城北 RC	新例会場 キャピトル東急ホテル
	(9月まで)
東京田園調布 RC	新ビジター費 3,500 円 (7月より)
"	8月4日(金) 休会

◎親睦活動委員会報告

新年度第1回親睦委員会開催

去る7月6日(木)、新年度の親睦委員7名と、馬場幹事、山田 SAA 委員長の出席を得て、中華料理を楽しみながら、「新年度親睦活動計画の具体的実施方法」を中心テーマに活発な意見交換が行われました。

親睦活動の内容については、例会場、ゴルフ、旅行、新入会員歓迎、忘年会及びレディス・デー、火曜会の6に分け、各々の責任者として、宮澤 博君、斉藤茂之君、四分一 勝君、永井克彦君、保科 正君、柴本芳郎君が担当することとなった。

特に例会場でのビジター歓迎方法について「どうすればビジターが気持ち良く例会に参加でき、是非もう一度来たいという気持ちで帰っていただけるか」ということと「新入会員に早くにクラブに馴染んでもらうにはどうすれば良いか」について、馬場幹事、山田 SAA 委員長を含めて、体験談や考え方が活発に発表されました。

例会場でのビジター歓迎については、親睦委員だけでなく会員全員で歓迎の意を表わす努力が必要との結論、新入会員については、積極的に場を設け、参加を呼びかけること等を取り決め、第2回の委員会を開くことも申し合わせ、和やかで有意義な会合を終えました。(吉田 記)



新年度になり、初めての当クラブとして月1回の4ページ判をつくりました。早速ご寄稿いただきました田島会員、柴本会員に厚く御礼申し上げます。

なお今後共会報を通じて交流を広げてまいりたいと思いますので、皆様のより一層のご投稿をお願い申し上げます。

◎次週予定 1989年8月4日(金)(第141回)

卓話予定 『天皇と戦後—1945年』

Mr. Otis Cary/京都 RC 会員

米国・アーモスト大学教授
同志社大学文学部教授

受付会計/竹島・永井 来客紹介/岩瀬

ソングリーダー/村上 ニコニコボックス/河原

各担当の会員の方は、11時50分迄にご出席願います。

東京新南ロータリークラブ 会長=佐藤 定宏 副会長=川鍋 達朗 幹事=馬場 一廣 会報=大日方 真
事務所 〒107 東京都港区赤坂 2-22-19 南部坂アネックス 201 号 TEL. 03-505-5976 FAX. 03-505-6004
例会日 金曜日 12時30分 例会場 東京全日空ホテル 〒107 東京都港区赤坂 1-12-33 TEL. 03-505-1111